阪急阪神ホールディングス株式会社

グループ経営企画室 広報部
〒530-0012
大阪市北区芝田一丁目16番1号
Tel:06-6373-5092 Fax:06-6373-5670
https://www.hankyu-hanshin.co.jp/

阪急阪神ホールディングスグループ
サステナビリティ宣言
～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

News
Release

２０２４．０７．１６

「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参画しました
～自然環境・生物多様性の保全につながる活動を推進～

阪急阪神ホールディングスは、日本経済団体連合会と経団連自然保護協議会が策定した「経団連生物多様性宣言・行動指針」の趣旨に賛同し、２０２４年５月７日に「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参画しました。

当社グループは、サステナビリティ宣言の重要テーマの一つに「豊かなまちづくり」を掲げ、大阪梅田エリアの都市緑化や六甲高山植物園の運営など自然環境・生物多様性の保全につながる活動を推進しています。

今後も、自然とともに、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたくなるまちづくりに取り組んでまいります。

Keidanren
Initiative for
Biodiversity

経団連生物多様性宣言イニシアチブのロゴマーク

＜「経団連生物多様性宣言・行動指針」について＞

日本経済団体連合会と経団連自然保護協議会が２００９年に発表（２０２３年に改定）したもので、生物多様性の問題に取り組む決意や行動指針が示されています。

２０２４年５月３１日時点で、３４５社・団体が参画しています。

（参考）経団連生物多様性宣言・行動指針：https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/082_honbun.html#sengen

以　上

阪急阪神ホールディングス サステナビリティデータブック 2023
https://www.hankyu-hanshin.co.jp/download/sustainability/databook2023.pdf

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

ご 参 考

■阪急阪神ホールディングスグループの生物多様性の保全に関する取組

大阪梅田エリアの都市緑化

大阪梅田ツインタワーズ・サウスでは、壁面緑化として低層部の外壁バルコニーにプランターを設置しています。生物多様性にも配慮し、六甲山系と淀川水系に自生する樹種を選定しているほか、開花や紅葉等の季節に応じた変化を感じられる植物も配置しています。また、12 階の屋上緑化（約 800 ㎡）では、壁面緑化と同様の考え方で樹種を選定するとともに、シンボルツリーであるケヤキを周囲の景観との調和を意識して配置し、季節感が感じられる植物を組み合わせることで、オフィスワーカーや来訪者に、くつろぎや憩いが感じられるオアシスのような空間を提供しています。

兵庫県六甲山エリアの六甲高山植物園の運営

六甲高山植物園では、世界の高山植物や寒冷地植物、六甲の自生植物、絶滅危惧植物など約 1,500 種の植物を栽培しています。約 5 万㎡の園内に、それぞれの植物の生育環境に合わせて野生に近い状態で植栽し、毎日行う花のガイドや季節の企画展、自然体験プログラムの開催を通じて、自然保護意識の啓発に努めています。

神戸市「キーナの森」で取り組む森林保全活動

神戸市の「キーナの森」では、その一部を「阪急阪神不動産の森」と名付け、下層植生の育成を阻害している常緑樹等の除伐や、作業に必要となる歩道の整備などの森林保全活動を実施しています。また、伐採木を用いたワークショップや森林ボランティア体験の研修などを開催することで、森林資源の活用や森林環境教育を推進しています。

市民団体への助成を通じた生物多様性の保全

当社グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成団体として、植樹・育林等を通じた森林保全や里山保全、絶滅危惧種の保護を推進する市民団体を選定し、寄付による活動支援や定期的な対話を行うことで、生物多様性の保全に向けて連携しています。